

📅 12月18日 熊本大学山崎記念館

平成29年度第2回保健事業支援・評価委員会

## 今年度実施した助言の内容を報告、 2月開催の学習会の企画・検討も

保健事業支援・評価委員会（以下「評価委員会」）では、国保保険者に向けた保健事業についての助言や学習会開催のほか、個々の保険者に出向いて助言を行う個別支援を実施している。今年度は8保険者を対象に評価委員会委員（保健師）による個別支援を実施し、助言を行った。

第2回評価委員会では、委員から「マンパワー不足の状況の中で、いかに市町村の保健事業全体の優先順位を決めて事業を見直していくかが大切」など、助言の報告が行われた。また、国保連合会と評価委員会が主催する「第4回データヘルス計画の効果的な実施に向けた学習会」（平成30年2月19日開催）の企画・検討を行った。

この学習会では、平成29年12月に策定された「熊本県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を理解し、取り組み推進に向けた関係者間の意識の共有を図るとともに、地域と医療との連携促進に向けた具体的な方策を学ぶことを目的としているため、第2回評価委員会では本県の糖尿病関連データの確認を行った。委員からは「糖尿病対策推進会議で二次医療圏ごとの担当を決めている。実際にはこのような糖尿病関連データをもとに市町村では進めていくので、圏域の先生や医師会の先生方に糖尿病関連データを知っていただくことも大切である。また、資料も本県の課題が一目でわかるものを作成してはどうか」などの意見が出された。

今後は、個別支援で得られた助言や評価委員会での助言などを事務局で集約し、全保険者にフィードバックしていく予定である。



📅 12月21日 市町村自治会館

平成29年熊本県保険者協議会 第3回保健事業部会

## 特定健診啓発ポスターや研修会などについて協議

各医療保険者と熊本県から11人の委員出席のもと開催した。  
向山照美部会長（美里町）の進行により各議題について協議した。

### 1 特定健診啓発ポスターについて

作成ポスター案を決定し、修正点や今後のスケジュールについて協議した。

## 2 特定健診・特定保健指導担当者研修会について

1月に開催する実践編での各保険者の役割分担を決定。また、平成30年度の研修会の内容や開催時期、回数などについて委員から意見や要望が出された。

## 3 糖尿病等重症化予防活動について

11月に開催した「医療費適正化に向けた医療保険者合同学習会」について、事務局が参加者のアンケート結果を報告した。委員からは「国保の人は住民の3~4割。被用者保険の被扶養者のことも考えなければならないと感じた」「他の保険者の活動がわかり参考になった」などの感想が出された。

また、糖尿病等重症化予防に向けて、各保険者で努力すべき部分や、保険者が連携・協力して進めるための具体的な方策（保険者異動時の情報提供、被扶養者の保健指導など）を検討した。

## 4 第1期データヘルス計画の評価について

各保険者から評価の状況が報告されたが、この段階では数値評価ができていない保険者が多かった。また、評価が難しかった第1期データヘルス計画の反省から、「第2期計画はきちんとした評価指標を考えて作成することが必要」などの意見が出された。



📅 12月22日 市町村自治会館

平成29年熊本県保険者協議会 第3回医療費分析部会

# 今年度作成のデータ集などについて協議

各医療保険者から11人の委員出席のもと開催した。

木村光宏部会長（全国健康保険協会熊本支部）の進行により各議題について協議した。

## 1 平成27年度特定健診データ集（保険者別・市町村別）について

内容と前年度版からの変更点などを事務局が説明した。委員からは活用状況や活用方法などについて意見が出された。市町村毎の特定健診データ集の活用方法については、例年通り保険者協議会のホームページに掲載する予定。

## 2 「第3期熊本県における医療費の見通しに関する計画（素案）」について

特定健診・特定保健指導の受診率・実施率、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数、後発医薬品の使用割合等について、熊本県が取り組むべき施策等と達成すべき目標の数値を確認した。

### 3 次年度計画について

事務局から①平成 28 年度特定健診等データの集計・分析、②熊本県糖尿病性腎症等重症化予防に関するデータ作成・検討、③医療費分析データの検討・作成—を予定していることを報告し、データ提出などの協力をお願いした。

